

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年7月11日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから7月11日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

明日12日の定例会の議題をお伝えいたします。

議題は4つです。

議題の1が、東京電力ホールディングス株式会社に対する平成29年の適格性診断の再確認の進め方についてです。

適格性について、どういった項目を確認するかとか、どういった手順で行うかということについて御報告をし、委員会の了承をいただくという議題でございます。

次の議題の2は、令和6年以降の安全研究の進め方でございます。

この安全研究の進め方は、令和6年度以降を対象とした、今後、推進すべき安全研究の分野と、その実施方針を取りまとめたものを了承していただくものでございます。

今後の規制ニーズへの対応の観点から、確率論的リスク評価に係る研究、事故耐性燃料の安全性に関する研究、原子力発電所の機器や構造物の経年劣化の事象に関する研究、中期目標に位置づけた最終処分安全性確保に関する研究など、重要研究分野などが書かれた文書が諮られまして御了承いただくというものとなっております。

議題3が、長期施設管理計画の認可制度に関する分かりやすい説明資料です。

これは何度か委員会のほうに御報告をしておりますので、どんな内容か分かると思いますが、パワーポイントやQA (Question and Answer) などにまとめているものについて、最終案をお諮りするということでございます。

議題4、令和5年度原子力規制人材育成事業の選考結果についてでございます。

この事業は、将来の規制人材を育成する目的で行っているものでございまして、現在実施中のもの14件に、新たに選定いたしました3件を加える、その3件を選定いたしましたということの御報告をするものでございます。これまで2万人が受講して、毎年150人程度が原子力関係の企業、また、規制庁に就職しているというものでございます。

議題については以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—